

詳細情報	
講義題目 (Course Title) (200文字)	国際関係論 (担当: 阪口功)
授業の目標、概要 (Course Objectives/ Overview) (1300文字)	この授業では、グローバル・ガバナンスについて学びます。すなわち、国内社会と異なり、中央政府が存在しないアナーキーな国際社会で、国境を越える問題にいかに取り組んでいくのがテーマとなります。授業では、国際関係論の基本を押さえながら、安全保障、人道・人権、貿易、開発、環境など様々な分野のガバナンスを、分野横断的な視点から俯瞰していきます。伝統的には国家間で形成される国際制度(国際条約、国際機関など)に分析の重点が置かれてきました。しかし、近年は国家間の取り組みだけでなく国境を越えて活動する市民社会アクター(NGOや企業)の取り組みにも注目が集まっています。実際、人権、開発、環境問題など市民社会アクターの活躍抜きには語れない問題領域も多いのです。そのため、授業では国家だけでなく市民社会アクターの役割にも着目していきます。
授業のキーワード (Keywords)	グローバル・ガバナンス、市民社会、NGO、企業
授業計画 (Schedule) (4000文字)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(4月10日) 2. グローバリゼーションと地球公共財の供給問題(4月17日) 3. リアリズム(4月24日) 4. リベラリズム(5月8日) 5. 世界市民政治とNGO(5月15日) 6. 安全保障(5月22日) 7. コンストラクティビズム(補講予定:5月26日1限) 8. 人権・人道(5月29日) 9. 貿易(6月5日) ※休講予定(6月12日) 10. 開発(6月19日) 11. 環境(6月26日) 12. NGOと企業の協同(7月3日) ※休講予定(7月10日) 13. 総括 or 映像資料視聴(補講予定:7月4日1限) <p><4/10の授業後、月1は文系の必修科目が入っていないのに対して、金1は必修科目が入っているとの指摘があったため、次回授業にて再度履修者の皆さんと補講日程(7/10→7/7に変更するかどうか)について協議します></p> <p>※ 補講回の講義については、録音し、音声ファイルをアップする。また、ビデオの撮影・アップについても試行予定。</p>
授業の方法 (Teaching Methods) (1000文字)	講義形式
成績評価方法 (Method of Evaluation) (500文字)	学期末試験による
教科書 (Required Textbook)	山田高敬ほか『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2011年。
参考書 (Reference Books)	飯田敬輔『国際政治経済』東京大学出版会、2007年。大矢根聡編『コンストラクティヴィズムの国際関係論』有斐閣、2013年。
ガイダンス有無 (Guidance)	なし
履修上の注意 (Notes on Registration) (100文字)	教科書はあくまでも理解の基礎のためであり、教科書通りに授業を行うわけではない。
学習上のアドバイス (Advice for Prospective Students) (500文字)	用語解説書として、加藤秀治郎ほか『国際政治の基礎知識』増補版、芦書房、2002年；猪口孝編『国際政治事典』弘文堂、2005年；川田侃ほか編『国際政治経済辞典』東京書籍、2003年；猪口孝ほか編『政治学事典』弘文堂、2000年。
関連ホームページ (Course-Related Websites)	研究室HP(http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~20050137/index.html)の「授業関連」ページでレジメを配布(要パスワード)
連絡方法 (contact information)	isao.sakaguchi@gakushuin.ac.jp ※*は@に置き換えること 研究室Tel: 03-3986-0221/0225 内線4820 (学習院大学)